

## 庁内業務可視化によるDX推進について

DX戦略本部事務局

### 1 目的

行政事務の効率化を図るため、業務量調査を実施し、業務フロー等を他県と比較・分析することにより、新たなシステムの導入、既存システムの機能改善や連携強化など業務の電子化、自動化等を推進する。

#### 【現状と課題】

庁内業務においてデジタル技術の活用度合いに差異があるほか、時間外勤務が常態化している部署があることから、デジタル化による課題解決を検討する必要がある。

- ・RPAやAIの導入、クラウドサービスの利用などの取組がいまだに浸透していない状況
- ・業務フローの点検を行い、デジタル導入の状況を把握した上で、既存の情報システムの統廃合を含め、業務のデジタル化を進めることが必要
- ・従来の業務の仕方を維持する傾向が強く、時間外労働が常態化している部署があることから、デジタル化による業務改善が必要
- ・一人1台PCの更新時期（令和6年度）に向けて、テレワークやペーパーレス化など業務の効率化や多様な働き方の検討が必要

### 2 内容

#### (1) 業務量調査

知事部局及び教育庁（学校を除く）の職員を対象に業務量調査を実施する。作業時間は職員1人当たり4～5h程度、各自がエクセルの調査シートに入力する。

＜主な調査内容＞

- ・業務フローごとの所要時間
- ・コア業務（職員でなければできない業務）とノンコア業務の仕分け
- ・押印の有無
- ・処理媒体（紙又は電子） 等

#### (2) デジタル化による業務改善等

上記の調査結果を踏まえ、業務フロー等を他県と比較・分析することにより、業務量の削減効果が高い11業務（各部局等1業務程度）を抽出し、デジタル技術の導入等による業務改善に取り組む。

<取組内容>

- ・他県との比較・分析により高負荷業務を抽出（約30業務程度）
- ・各部局等とヒアリングを実施し、改善に取り組む11業務を選定
- ・各部局等とワークショップを開催（4回程度）し、現状把握・業務分析・フロー見直し・解決策等を検討
- ・DXアドバイザーの助言、デジタルマッチングボックスAKITAの活用によりデジタル化を実装

### 3 スケジュール（案）

- |          |   |
|----------|---|
| 令和4年度7月～ | 企画提案競技による委託業者の選定  |
| 8月       | 委託契約<br>業務量調査に関する各部局等への説明会  |
| 9～10月    | 業務量調査の実施（2か月間）  |
| 11月～     | 調査結果の分析等（2か月間） <ul style="list-style-type: none"><li>・他県とのデータ比較・分析</li><li>・電子化可能な11業務の選定</li></ul>         |
| 1月～      | 各部局等との調整・検討（3か月間） <ul style="list-style-type: none"><li>・ワークショップの開催</li><li>・デジタルソリューションの実装に向けた取組</li></ul> |
| 令和5年度以降  | 各部局ごとにデジタルソリューションの実装に向けた取組<br>各部局ごとにデジタル化以外の業務改善も推進   |